

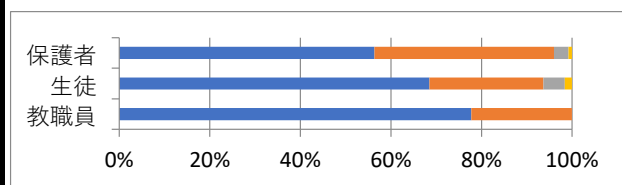
# 令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

## ①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

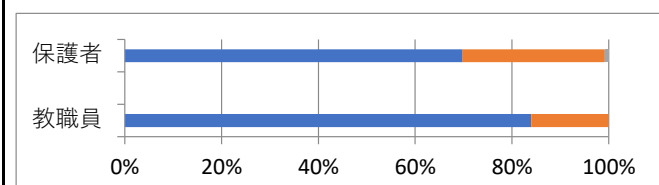
### 1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていますか。



### 2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

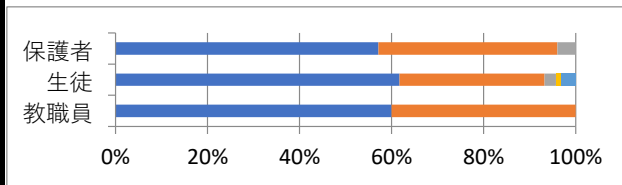


考察 一人一人の児童の尊重において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の児童の割合が、96%になっており本校が昨年度より引き続き取り組んでいる特別活動や道徳における心の教育の充実だと推察する。保護者における「そう思う」も10%程伸びており、本校教育の指示につながっている。さらに充実させ

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

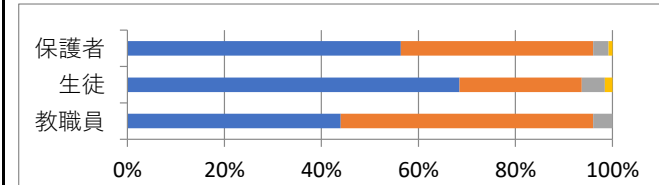
### 3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



### 4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

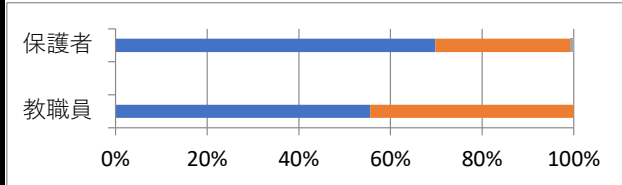


考察 保護者・児童ともに、学校が新たな学力の向上を推進している点に、90%以上が評価しており、教職員の主体的な取り組みが伝わっていると捉えることができる。また、タブレット端末の活用に対する評価も、昨年度に引き続き伸びており教職員の推進の取り組みが、児童・保護者と一致した結果と考える

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

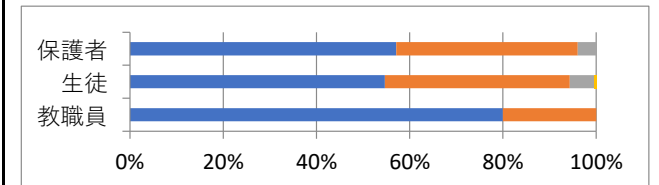
### 5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



### 6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



考察 学校における支援体制において、約90%の支持があり評価を受けている。本年度、保護者の「そう思う」が支援体制において20%の伸びがあり、教職員の日頃の校内におけるケース会の毎月の開催や、保護者との教育相談の開催、入学式などへの行事へのサポート事業が評価されていると考える。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止		8 家庭や地域との連携協力	
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。		学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。	
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>		<p>保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	
<p>考察 安全対策の推進においては、児童が「そう思う」が68%になり、昨年度より10%伸びており、教職員の毎月の安全点検事業の見直しや早急な対応、また、教職員の地域との連携意識の向上が、共有できた評価になっていると考える。けが等での保健室来室数も低くなっており安全な環境づくりにつながっている。</p>			

学校独自	
9 学校独自1	10 学校独自2
学校は、児童がわくわくする学校づくりに取り組んでいると思いますか。	学校は、学級会などで学校でやりたい楽しいことや問題を話し合っていますか。
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>考察 昨年に引き続き、本校の教育における肯定的な意見が90%を超えており、教育目標が、保護者に浸透し教育の充実につながった結果となっている。これまで引き続いている教育活動を教職員・児童とともに、さらに内容・活動ともに深化させていく。</p>	

学校独自	
11 学校独自3	
道徳の授業などで「4つの心」を考えながら勉強を頑張っていますか。	
<p>保護者 生徒 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	
<p>考察 昨年に引き続き、本校の教育における肯定的な意見が90%を超えており、また保護者の「そう思う」が10%伸びていることから、教育目標が、様々な形で子供の日常の姿となり、保護者に浸透し教育の充実につながったことがうかがえる。</p>	

## 来年度の具体的な取組について

- ・本年度の取組みである「4つの心」とシンボリック存在の帯西レンジャーを教育活動の中心に据えながら、心の教育である特別活動・道徳教育の充実を推進していく。全教職員で共通実践したり、成果を共有する中で教員・保護者・児童ともに学校教育の実現に向け実践していく。
- ・細やかな一人一人の対応において児童は、昨年度に引き続き約70%が満足しており、教職員にそのことを還元し保護者へも示し実感となるように、教育相談・懇談会等の機会を設定しよりよいきいおういくの充実に取り組んでいく。

## 学校関係者評価

- ・子供たちが一生懸命自分の意見を発表し、それを学級のみんながしっかりと受け止めている姿が素晴らしい。教室の授業風景がとても落ち着いている。
- ・学校からの様々な情報発信があり、とてもよい。
- ・教室の掲示物（「心のパズル」「学級目標」「学びの足跡」等）が統一されている。そういう同じ取組みが学年・学校に波及し、教員の意識改革に結び付き、教育効果を高めると思う。